

尾瀬国立公園への観光客を 「もてなしの心」をもってお出迎え

南会津-2

尾瀬へのもてなし地区

桧枝岐村

南会津建設事務所
計画期間:H16~21

地域づくりの方針

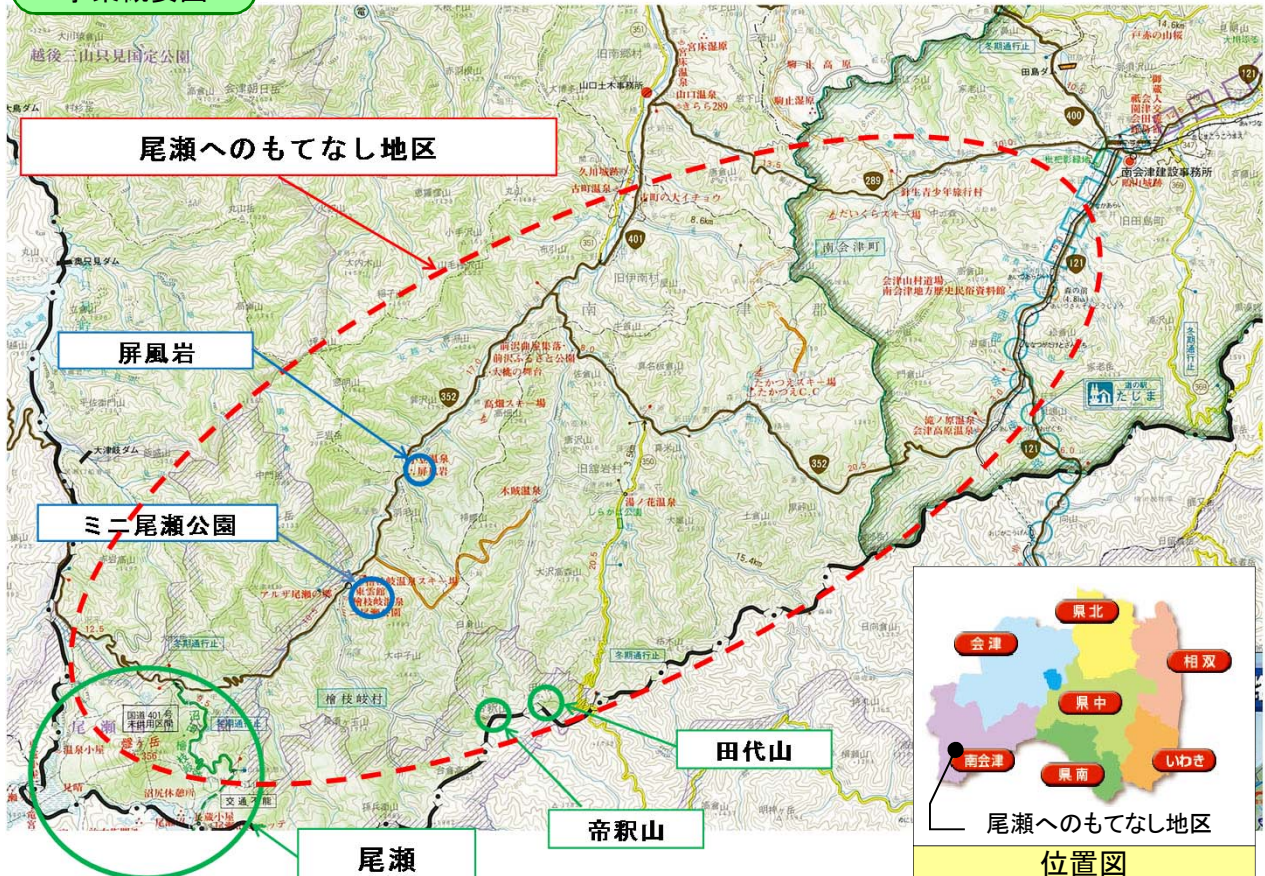
尾瀬を含め当地域に訪れた観光客を「もてなしの心」をもって歓迎し、円滑な誘導案内を提供することによって観光客の満足度を向上させ、観光交流人口の拡大、リピーターの増加を目指します。

主な事業内容

尾瀬国立公園への観光客をおもてなしの心で迎えるために **案内標識**、**沿道景観整備** などを行いました。



事業概要図



地域の現状

東日本大震災の影響により、福島県側から尾瀬への入山者数は、減少しております。以前は、来訪者の約8割が県外から、また約6割は関東圏から、国道121号・国道352号を利用し、尾瀬を訪れていたことから、福島県側から訪れる観光客を震災前の水準まで回復させるため、関係機関が連携し観光客誘致対策を行う必要があります。

地域づくりのあゆみ

- 平成16年
 - ・ビューポイント整備、道路付属物（落石防護柵、高欄等）美装化。
 - ・WSの開催に向けた各町村との事務打合せを実施。
- 平成17年
 - ・ミニ尾瀬公園前遊歩道整備について、3回のWSを経て計画を策定。
 - ・館岩村から、公共施設の景観及び環境への配慮に対する要望を受ける。
- 平成18年
 - ・ミニ尾瀬公園前遊歩道整備をWSを経て計画策定。
 - ・館岩村から、公共施設の景観・環境に関する要望を受ける。
- 平成19年
 - ・番屋パーキング標識整備。 ・屏風岩パーキング整備。
 - ・橋梁高欄、スノーシェッド美装化
- 平成20年～21年
 - ・案内標識設置

実施した感想

- ・屏風岩駐車場の整備により、以前より観光客が立ち寄るようになりました。
- ・遊歩道の整備により、伊南川の景色を楽しみながら散策する観光客が増えました。

元気づくりの立役者たち



事業の効果

■沿道修景の向上

檜枝岐村では、不要な案内看板類を撤去するなどして、景観形成に取り組むこととしています。

■地域資源を活かした 交流人口の拡大

番屋駐車場に案内標識を整備したことで、番屋のそば処の入り込み客が増加しています。

■良好な景観形成

H17からH21にかけて、南会津町（旧館岩村）が館岩地区において、まちづくり交付金を活用し既存まちづくり組織と連携しながら、湯ノ花温泉と木賊温泉の良好な景観形成に向けて取り組みました。

地域の課題・今後の展望

今後は、道路付属物や看板を景観色にし景観整備に努めるほか、東日本大震災以降落ち込んでいる観光客を取り戻すため、引続き観光振興の支援を行うなど、当地区の魅力を最大限活かすことが必要となります。

整備内容及び利用状況

遊歩道整備工



施工前



施工後

案内看板



利用状況

平成17年から18年にかけて、中土合公園からミ二尾瀬公園を結ぶ遊歩道を整備したことにより、伊南川の景色を楽しみながら散策する観光客が増えました。しかし、平成20年以降は減少傾向が続いております。

○尾瀬入込客数

H17	: 109,750人
H18	: 116,407人
H19	: 119,398人
H20	: 103,781人
H21	: 100,500人
H22	: 104,300人
H23	: 57,400人
H24	: 85,900人



舗装補修工、道路付属物塗装工



施工前



施工後

視点場整備工(屏風岩)



施工前



施工後



視点場からの眺望

関係機関

- 福島県 南会津建設事務所 企画調査課
- 南会津町建設課
- 檜枝岐村産業建設課

TEL : 0241-62-5322
TEL : 0241-62-6230
TEL : 0241-75-2501